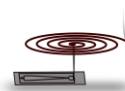


高校に進学して 不登校からの立ち直り



「あの子が中学校になじめずに不登校だったなんて思えないんです。今、高校生活が楽しいようで休まずに通っています。」6月19日の“気楽に話し合う会”に参加されたお母さんの声です。

“気楽に話し合う会”は不登校生を抱えて悩む(悩んでいた)保護者の集まりで、同じ悩み事を抱えている保護者が集まって気楽に話したいものだというねらいで、偶数月の第3金曜に開催しています。

話は続きます。「先日は、3泊4日の日程で県外の研修センターを訪問した折に買ってきたお土産を中学校の担任の先生に届けたんですよ。」と嬉しそうに語ってくれました。中1の後期から不登校になり、2年間心配した子の変容ぶりにお母さんは嬉しさを隠せない様子でした。

何が彼を変えたのでしょうか？ 進学先の高校の環境が彼に合っていたということもあります。ご家族の支えが良かったことはいまでもありません。そして、中学時代の学校復帰は叶わなかったけれど、私は中学校の担任の先生の温かい支えが立ち直らせたのだと思っています。それは「あの先生に担任をしてもらって本当に良かった。」という言葉が、立ち直った生徒の親御さんからよく聞かれるからです。

今“いじめ”がクローズアップされていますが、教師が子どもをどう見ているかということが、“いじめ”や“不登校”に限らず子どもたちの諸問題を解決する際に大きく効いてきます。

クラスには“いじめっこ”“いじめられっこ”“不登校寸前の子”など気になる子がいるものです。そうした子どもたちを「あいつがいなければ落ち着いたクラスになるのに・・・」「困った子どもたちだ・・・」と思うか「あいつもいいところがあるじゃないか!」と思えるかどうかです。子どもたちのことを「いい奴らだなあ」と心底思えているときは、たとえ“いじめ”や“不登校”が発生しても解決しやすいのではないのでしょうか。先生の本心は子どもたちに伝染しますので、問題解決の一番の妨げになることもあります。自分のことを本当に気にかけてくれる人が一人もいなかったら誰だって学校に行きたくなくなります。今回紹介した事例は、絶対に見捨てないという気持ちやその子への温かい思いを持った担任(先生)の存在です。「お母さん方大丈夫です。立ち直れます。」我が子を立ち直らせたお母さんの言葉には重みがありました。

～ もう1学期の終了! 暑さ!?との戦い ～

5人での生活が軌道に乗り、2学年での学習が別々に行われています。7月初めに行われた期末テストを全員受験し、今の自分の力を試すことができました。学校復帰を目指すならば、定期テストや実力テスト受験がその第一歩と考え、シャイニングクラスではなるべく学校の年間指導計画に沿って、週60分で基礎基本を中心に学習しています。学習に取り組む姿勢はとて真剣です。最近寝るのが少し遅くなっているAさんは家に帰って夕食前に課題に向かい、夕食後入浴し、少しくつろいだ後また課題をしていると、日付けが変わる頃になるとのことです。また、Bさんは将来を案じているが、大人数の中にいると落ち着かず、学校に行くのが億劫になり、ついつい落ち込み、そんな自分を嫌になることが多いとのことです。最近の30度超えの暑さがその気持ちをさらに大きくしているようです。



いろいろ悩み戸惑いの多い学校生活。まだ、行動に移れていないみなさん、シャイニングクラスや学校、

またはその他のどんな機関でもいいので自宅以外に自分の居場所を見つけ、歩み出してみませんか。待っています。

～ 盛夏の候 汗流し頭使い ～

なんとも暑い毎日ですが、通級生はそれなりに元気です。体験活動も、生徒たちは興味津々です。



畑作業「除草・土寄せ」(7/6)



絵手紙づくり「暑中見舞い」(7/16)

1回目9日(木)は、畑の作業。年間計画より1週遅れで実施し、4名の生徒が参加しました。朝から太陽が容赦なく照りつける中、除草作業から取り掛かりました。根っこの張りがとても強く手こずり、ミミズ・カエルの出現に奇声を発し、一方ではそれを喜び、畑は賑やかです。次は土寄せ。ジャガイモや小豆、エダマメもいい具合に成長していて、畝に入っての作業は大変でした。でもみんな収穫をイメージしながら取り掛かり、短時間で終わりました。さらに、野生動物に食われてしまった空間には、秋ネギの苗の植え付けです。汗と土にまみれても何のその、これが成長すれば隣に植えているサトイモと一緒に、秋には美味しい“いものこ汁”が待っていることを想像しながら・・・。「初めての貴重な体験だった」「太陽もニコニコでとても暑かった」「ジャガイモの花が咲いてきれいだった」等と記し、満足気でした。

2回目の16日(木)は絵手紙づくりで、4名が挑戦しました。説明が終わるや否やさっさと取り掛かる姿にびっくりしました。ハガキには、おじいさんが作った野菜、大胆な花、涼しげな風鈴、特盛?と思わせるような焼きソバ等々を集中して描きました。結果、生徒たちもかかわった私たちが満足する作品が並びました。さてさて、これを手にする方はどなたでしょう。またどんな感想をもっていたただけるか、楽しみます。

「絵手紙づくり」で子どもたちが制作した作品(7/16)



あ と が き

子どものスマホトラブルが新聞に掲載されていました。クラスのリーダー格のA子にぬいぐるみをももらったY子(小6)がLINE(ライン)でのやりくりの後、不登校になってしまいました。なぜか? Y子はA子にお礼を言いたくて書き込みましたが、スマホ初心者のY子は「?」を付け忘れました。そのため「かわいくない」と否定されたA子は激怒し「Y子以外」という新しいライングループをつくります。・・・誤解、トラブル修復経験のなさが原因での不登校の事例です。文字だけのやりとりでは誤解が生じることを大人は子どもたちに教えておく必要があります。

まもなく夏休みです。子どもたちに新しい出会いや新たな発見がありますように。

7・8月の活動 シャイニングクラス在籍 5名

< シャイニングクラスの学習 >

- 月曜日 理科、国語 ○ 水曜日 社会、英語
- 金曜日 数学、体育 ○ 木曜日 体験活動(月2回)

7月27日(月)～8月7日(金)の期間中は、市民プラザと相談室で自主学習の予定です。

- ◆ 体験活動⑥ 7月6日(木) 「畑作業(植付け・除草)」
- ◆ 体験活動⑦ 7月16日(木) 「絵手紙づくり(暑中見舞い)」
- ◆ 体験活動⑧ 8月6日(木) 「エダマメの収穫・販売」



教育相談連絡先

- ダイアルなんでも相談
TEL 23-7266
- 適応指導教室(シャイニング)
TEL 22-2111
(内線 445、448)
林、小野、鈴木が担当です。